

目次

[概要](#)

[更新されたファイルを配置して下さい](#)

[最初デプロイメントオプション](#)

[第 2 デプロイメントオプション](#)

概要

この資料は Cisco インフォメーション・サーバー (CIS) のためのカスタム Java プロシージャ (CJP) をサポートする CIS 再始動なしで更新されたファイルを配置するために完了する必要があるステップを記述したものです。通常、これはファイルをリロードするために CIS の再始動が要求しますいくつかの環境で CIS 再始動はポリシーによって禁止されるかもしれません。

更新されたファイルを配置して下さい

Microsoft 以外の Windows プラットフォームに関しては、更新されたファイルを配置するために使用できる 2 つのオプションがあります。

最初デプロイメントオプション

更新されたファイルを配置するためにこれらのステップを完了して下さい:

1. サーバはまだ動作するが、更新済 .jar ファイルのインストールの .jar ファイルを上書きして下さい。
2. 宣言された CJP データ ソースでは、リソースを右クリックし、『Add/Remove』を選択して下さい。
3. リソースの最高レベルでノードのためのチェックボックスのチェックを外して下さい。
4. リソース ツリーを拡張して下さい。注 これは抑制されたチェックマークとして現われるかもしれないチェックボックスを再確認します。
5. [Finish] をクリックします。
6. Reintrospect CJP データ ソース。
7. 新しい .jar ファイルはロードする必要があります。

第 2 デプロイメントオプション

更新されたファイルを配置するためにこれらのステップを完了して下さい:

1. サーバはまだ動作するが、更新済 `.jar` ファイルのインストールの `.jar` ファイルを上書きして下さい。
2. 1 つの領域を CJP データ ソースの `URL` フィールドの終わりに入れ、次に取除いて下さい。これは編集モードにデータ ソースを置きます。
3. 次に CJP データ ソースおよび `reintrospect` をそれぞれ保存して下さい。これは `.jar` ファイルおよび含まれていたクラスをリロードする必要があります。